

史料群番号 26

史料群名	たまつくりまち 玉造町役場文書	旧所蔵者	玉造町役場
採訪時住所	茨城県行方郡玉造町		
現在の住所	茨城県行方市玉造甲		
採訪年月	昭和26（1951）年7月		
史料の年代	寛政2（1790）年～明治30（1897）年	史料の 総点数	46点
年代の内訳	近世 34点/近代 10点/不明 2点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「1953年11月 漁業制度資料目録 第9集 全国篇VI 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」「昭和五十年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録- 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」「平成十五年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-茨城県（霞ヶ浦・北浦周辺地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

採訪の書類に寄贈とあり、その際の史料点数は42点と記されている。現在中央水産研究所に収蔵されている史料の点数は46点だが、これは整理の方法によるもので、おそらく、採訪から現在に至るまで、史料の散逸、移動は生じなかったと考えられる。

史料群の概要

玉造町は、近世には常陸国行方郡玉造村があつて、水戸藩に属していた。明治22年に玉造町に含まれ、平成17年に行方市となった。

史料の大半は、年未詳「地引帳」、天保14年「御検地帳」など、土地に関するもので、漁業関係はほとんど見られない。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

